

とうとう 10 年到達記念キャンペーン

余市に拠点を構えて 10 年目。

秋に計画していたアニバーサリー感謝祭は残念ながらコロナ禍で断念しましたが、多くの方々からお祝いや励ましの言葉をいただいています。これまで支えて下さったみなさまに心から御礼申し上げます。

イベント中止が続く中、受難の時期を乗り越えるために、これまでの歩みを振り返りつつ、将来への種まきを進めているところです。エコビレッジとともに次の 10 年を歩んでくれる方、仲間になってくれる方々を求めています。どうか引き続き、応援してください！

2021 年 10~12 月を「とうとう 10 年到達記念キャンペーン」とし、期間中ご寄付を頂戴した方に、スペシャルギフトを用意いたしました。

余市 10 年記念誌の他、この春エコビレッジで産出し放牧飼育した羊のラム肉、人気のワインやジュース等、えこびれならではの品々です。数量限定、発送に期限がありますので、ご希望の品のある方はお早目にお申込みください。

<ギフト例>

□1 万円 記念誌。ラム肉 500g
(定員 20 人。受付 11 月 15 日まで。11 月後半発送予定)

□1 万円 記念誌。ブドウジュース&スイーツセット
(定員 20 人。受付 11 月 30 日まで。12 月中旬発送予定)

□2 万円 記念誌。エコビレ赤ワイン (710ml) & スパークリングワイン (375ml) の 2 本セット
(定員 10 人。受付 11 月 30 日まで。12 月中旬発送予定)

□3 万円 記念誌。ブドウジュース (500ml) 6 本セット、新タイニーハウスお 2 人 1 泊宿泊券
(定員 5 人。受付 11 月 30 日まで。12 月中旬発送予定)



ご寄付は、以下の口座にお振込みいただき、お手数ですが、ご氏名、ご希望のギフト、送り先ご住所、電話番号をメールでお知らせください。

連絡先：y.ecocollege@gmail.com

- ゆうちょ銀行から
【記号】 19070 【番号】 38886511
【口座名義】 トクヒ) ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト
- ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと手数料がお安くなります。
【口座番号】 02700-9-85080
【口座名義】 北海道エコビレッジプロジェクト
- 北洋銀行から
【口座番号】 宮の森支店 普通 4031861
【口座名義】 トクヒ) ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト
- クレジットカードでのご寄付の場合
該当するギフトを下記 URL からお選びください。

寄先 URL

<https://yeco.base.shop>

(右の QR コードからも
アクセスできます)



入会・寄付のお問合せは下記まで

【余市エコビレッジ】

余市郡余市町登町 1863
*JR 余市駅からバスで 10 分
(赤井川線でモンガク下車)、
徒歩 3 分

【Tel/Fax】
0135-22-6666

【E メールアドレス】
y.ecocollege@gmail.com

【Web ホームページ】
<http://ecovillage.greenwebs.net/>



えこびれ
note

VOL.47 Oct.



作成・発行
NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト
■エコカレッジ: 余市町登町 1863
■office: 札幌市中央区宮ヶ丘 2 丁目 1-1-303
Hokkaido Eco-village Promotion Project

オンライン・エコカレッジ開催中

これからの地球のサステナビリティを、環境、経済、コミュニティなど様々な視点で考え、最初の一歩を踏み出そうという連続通年講座です。

第4回は日本工業大学の樋口佳樹先生に国内外の水環境のお話や電力を使わない排水の浄化法について分かりやすく紹介していただきました。
(第4回は北海道e-水プロジェクトの助成を受けて実施しました。)

毎月第3水曜日に開催予定。19時開始、参加費無料(投げ銭方式)です。



第4回「環境共生型汚水浄化システム」の様子

第6回 11月17日(水) 講師：佐竹 輝洋さん(札幌市 環境局 環境都市推進部 環境政策担当係長)

「気候変動と私たちの暮らし」

「気候変動」と聞いてどんなイメージを持たれるでしょうか? 「キコーヘンドー?」という方、「最近、だいぶ暑くなったなあ」と思う方など、様々かと思えます。今年8月に公表された国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」によると、私たち人間が灯油やガスなどを燃やすことで発生する二酸化炭素などの温室効果ガスが地球温暖化を引き起こしていることは「疑う余地がない」とされました。

この地球温暖化の影響を最小限にするためには、現在、排出されている温室効果ガスを2030年には半減、2050年には実質ゼロにしなければなりません。「気候危機」とも言われるこの状況の中で、私たちはこの気候変動をどう捉えて、よりよい生活を送るためにどう行動すべきか、参加者の皆さんと一緒に考えていければと思います。

第7回 12月15日(水) 講師：平田 剛士さん(カムイチェブ・プロジェクト研究会)

「アイヌの暮らしと権利」

私は滝川市在住の和人数で、フリーライターをしています。2019年秋、オホーツク地方の藻麓(モベツ)川で、紋別アイヌ協会の畠山敏会長たちが、サケを密漁した疑いで告発された事件をご記憶でしょうか。警告し続ける道職員たちに、「日本人が決めた法律に、なぜ先住民族が従う必要があるのか?」と反論するエカシの姿を、ニュースでご覧になった方もおられると思います。私は現場で取材しながら「エカシが問うている相手は自分だ」と感じました。和人としてどう返答すればいいのか思案しながら、昨年(2020年)、NPO さっぽろ自由学校「遊」の支援で「カムイチェブ・プロジェクト研究会」というウェブゼミを企画・開催しました。カムイチェブは「カムイが届けてくれた魚」、つまりサケを指すアイヌ語です。先住民族の権利をどうすれば保障できるか、研究会の成果を交えながら語り合えたら、と思います。

第8回 1月19日(水) 講師：小野 邦彦さん(株式会社坂ノ途中代表)

「持続可能な食と農~100年先もつづく、農業を」

農業って、実は環境へのネガティブな影響が大きいんですね。もっと環境負荷の小さい農業、社会にシフトしていこう。そしてそのためには、新しく農業に挑戦する人たち、オーガニックで環境負荷の小さい農業を志す方を応援したい。少量不安定な生産でも、品質が高ければまっとうな価格でお客様のところに届くような仕組みを作るために、2009年京都で株式会社坂ノ途中を立ち上げました。10年間の歩みや課題をお話し、皆さんと一緒に坂ノ途中の未来像について語ってみたいと思います。



撮影：坂田潤一氏



地域循環共生圏 &SGDs 研修

new!

循環型社会を実現する地域ネットワーク構築をねらいに、SDGs 研修ツアーに取り組んでいます。これまでエコビレッジ単体で実施していたものを地域ぐるみの体制を作ることで、修学旅行など大規模なツアーも受け入れられるようになりました。役場や観光協会、JAとも連携しながら、また環境や教育の専門家も交えてプログラムや教材の開発を進めています。

7/2には地元の紅志高校、7/14に北海道大学の学生を対象にモニターツアーを行い、余市の海、森、農業などの現状と課題について学んでもらいました。地元食材を使用し、プラスチック容器を使わないお弁当を地域の飲食店にお願いしたりして、環境に配慮したツアーを試行中です。

(本事業は環境省の令和3年度環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の一部として実施しています)

会員&ボランティア 大活躍の夏

new!

今年度は常勤スタッフが少なく、農作業や草刈りなど、日々の外作業の多くを会員やボランティアの皆さんに担っていただきました。おかげさまで、今年もみずみずしい野菜が食べられて、美しい景観を保つことができました。

「IT系の仕事をしながら」「週末通いの二地域居住」「旅の途中」「農家バイトとの兼業」など、今年はいろいろなスタイルが生まれました。コロナ禍でテレワークが普及したり、農的暮らしやコミュニティライフを都市生活に取り入れたい人が増え、地方と都市の多様な関わりが、余市の交流人口につながっています。

彼らの登場は with/after コロナの生き方・働き方にヒントを与えてくれているのではないのでしょうか。

